



いたびつ  
**板櫃** <校訓>  
真理の探究  
自主躍進

令和5年5月9日(火)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

## 自分を変えることができる人間に～ダーウィンの言葉～

新学期が始まって、約1か月が経ちました。令和5年度が本格的にスタートしました。今までの自分を「変えること」ができていますでしょうか。もちろん、変えなくていいことは、変えなくていいと思います。しかし、勉強に対する姿勢、進路に対する考え方、人間関係などなど、「変えたほうが成長できること」はもう一度考えてみたほうがよさそうです。そこで、進化論で有名なダーウィンの言葉を紹介します。

### 強い者、賢い者が生き残るのではない。 変化できる者が生き残るのだ。(ダーウィン)

上に書いたように、進化論で有名なダーウィンの名言です。彼はイギリスの自然学者として進化論を説きましたが、実は親は医師で、自分自身も大学では医学を修めていたそうです。

この名言は、彼の進化論に対する考え方の芯であると同時に、もともと医学を学びながらも次第に自然科学や地理、動物に興味をもつようになった生き方そのものを表しているかのようでもあります。私たちの生きるこの時代は、ダーウィンの時代とは比較にならないスピードと規模で変化を続けています。その中で、自分らしく成長していくために、変化に対応できる生き方を身に付けていきたいものです。

☆☆

●1年生の皆さん、学校生活には慣れてきたでしょうか。「自分を変えよう」という気持ちが高まってきましたか。先週に比べると、挨拶の声も随分出てきました。2・3年生に比べるとまだまだ元気が出ると思います。ところで、「変わる」ということは、友達の新たな面に気付くということでもあります。この時期に、「悪く変わろう」という人なんていません。誰もが、「よく変わりたい」と思っているのです。そんな「変わろう」としている人をお互いに応援してください。「あの人は小学校の時～だった」とか考えることもあるかもしれませんが、みなさんは友達の成長を認めることができる中学生になったのです。今から先輩と一緒に「自分を変え」、板櫃中の伝統を築きましょう。

●2年生、中堅学年です。部活動では3年生は夏で引退、そのあと2年生のみなさんが中心です。生徒会も2学期に役員改選があります。3年生が入試に向かってスタートするということは、2年生が同時に「板櫃中の顔」になるということです。学校生活でも素直で、積極的に、頑張れる学年です。今のまま、3年生の跡を継ぎ、板櫃中を支えてください。今年から2年生での修学旅行が始まります。修学旅行も成功させましょう。

●3年生、今年も2泊3日の修学旅行が実施できます。ただし、今後の感染状況によっては、今年も少し制約があるかもしれません(訪問地でのマスク着用など)そして、義務教育の最終学年。自分の手で進路を切り開く時です。一瞬一瞬を大切に過ごし、友だちと共に、進路実現を目指していきましょう。最後まで努力できる人間に。頑張ろう!

☆☆

今年から板櫃中の学校生活の合言葉は「規律」「感謝」「情熱」です。特に、「情熱」が中学校時代のもっとも大切なキーワードだと思います。「めんどくさいな」「なんであいつは必死にやっているんだ」「こんなこと、しなくてもいいのに」と思ったことはありませんか。でも、「情熱」をもち「一生懸命」にすることが、成長の証です。「一生懸命」が友達、家族、自分自身を感動させ、人間として大きく成長させるのです。「できる」「できない」ではなく、「やる」か「やらないか」です。小さなことにも一生懸命、必死に取り組めるそんな素敵な中学生になってください。

1年生、2年生、3年生に次の言葉を贈ります。この『5つのあい』は、中学校生活を豊かにするものです。

#### 水難事故防止に係る取組について

このことについて、北九州市教育委員会生徒指導課、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課より連絡がありました。

大型連休期間(ゴールデンウィーク)は終わりましたが、これから夏休み期間にかけて、農業用水路・河川等での事故の多発が懸念されます。

つきましては、下記の内容について、ご家庭でも注意喚起をお願いします。

#### 1 河川で遊ぶときには

- 大人と一緒に行く。子どもだけでは遊びに行かない。
- 必要な道具(ライフジャケット・運動靴・ヘルメット等)を準備する。
- 行き先の天気を調べていく。大雨注意報・警報が出ている場所には行かない。
- 遊泳禁止区域等、危険箇所では決して遊ばない。

#### 2 河川水難事故を防ぐには

- 河川が氾濫してからでは遅いので、早めに避難すること。
  - 避難が遅れた時には、建物の高い場所に避難すること。
  - 川の様子が急変する前兆(山鳴り・増水、水の濁り、流木・減水・腐った土や火薬のようなにおい等)があれば、避難すること。
- ※ 河川水難事故は毎年多発しています。